

学校だより



紫竹山

235号

新潟市立
紫竹山小学校
児童数385名

気付きや思いを生かした探究的な学習の推進

今年度も紫竹山小学校では、「地域のよさと、これからの社会を考え、主体的に行動する」子どもの育成を目指しています。日常生活や体験活動を通して、子どもたちの中で湧き上がってくる気付きや疑問・関心などを基に、自ら課題を見つけ、解決する力を育てたいと考えています。前期前半までの各学年の生活科や総合的な学習の時間における取組の様子をまとめました。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

1年生 活動名 「なかよしいっぱい がっこうたんけん」

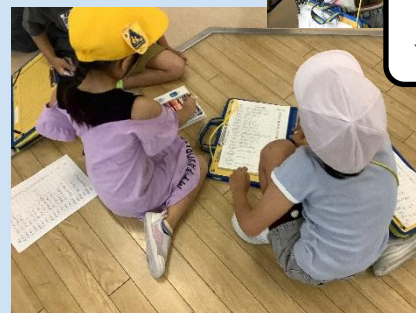
2年生と
の出会い



はじめまして、
よろしくね。

「チェッコリ」を教えてもらって、仲良くなれたよ。

2年生に学校を
案内してもらっ
たよ。



ここは先生が仕事を
する部屋だよ。

学校探検



理科室には、見たことがない道具がたくさん
あるね。



校長室のソファは、
ふかふかだね。



先生の机がたくさん
あったよ。

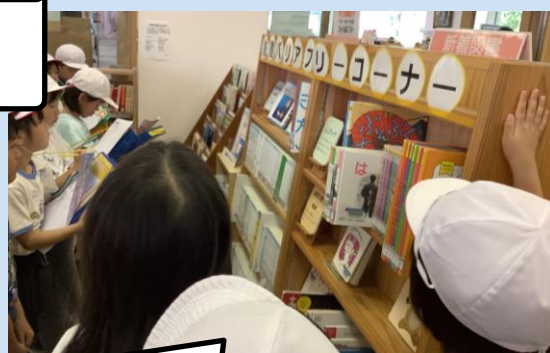
1回目は2年生と一緒に、2回目は1年生だけで学校の中を探検しました。今後は、学校で働く教職員へインタビューを行い、関わりを深める活動を行っていきます。

2年生 活動名「どきどきわくわく まちたんけん」



5月29日
県立図書館へ

いろんな年齢の人が利用しているんだね。
赤ちゃんのための本もあるなんてびっくり。



本の種類もいろいろあるし、CDや新聞、コンピューターもあるんだね。すごい。



6月5日
紫竹山地区へ

弁天橋の上から鳥屋野潟を見ると、よく見えるね。たくさん車が通っているよ。



6月9日
米山地区へ

学校やマンション、新しい家も多かったよ。紫竹山と米山もなんとなく違うね。

お店がいろいろあるよ。医院やクリニックもあるね。車のお店も多いね。

【児童の感想】

- ・紫竹山地区も米山地区も大通りはにぎやかだけど、道が変わると静かだなあと思った。
- ・おうちや食べ物屋さんがたくさんあることに気付いた。
- ・米山地区に住んでいるけれど、紫竹山地区には行ったことがなかったから、楽しかったし、どきどきした。
- ・ふりかえりをみんなですて、もう少し調べてみたいと思った。
- ・コーヒー屋さんやパン屋さんを見つけたから、今度お家の人と行ってみたいと思った。

【今後の活動】

今回の町探検で子どもたちが興味をもったお店や施設について詳しく調べる予定です。9月にそれぞれのお店や施設へ伺って、インタビューをしてきます。そして、町探検で学んだことをまとめる予定です。

3年生 活動名「鳥屋野潟の鳥や生き物に親しもう」



4月24日 味方 繁夫 様

地域をよく知る、味方さんから鳥屋野潟の生き物や、昔の様子などについてお話をいただきました。鳥屋野潟についてもっと知りたいという意識が高まりました。



**5月29日 春の探鳥会
(鳥屋野潟鐘木地区)**

双眼鏡を使って、遠くにいる野鳥を教えてくださいました。また、見つけた鳥を望遠鏡で見せていただきました。

二つの活動を通して、野鳥について分かったことや調べたことをまとめる。

春の探鳥会新聞

カルガモを近くで見つめたよ

カルガモをじっくり見れた

鳥屋野潟公園の小さな池に、カルガモが羽を洗っていた。とても近くで見ることができた。カルガモは、茶色っぽい色をしていて、大きさは、41センチくらいあります。くちばしは黒色で、さきは黄色だった。しっぽの方が、濃い茶色だった。

百五毛は、親子が来ていた。

春の探鳥会新聞

黒い鳥を見つけたよ

ハシソガラスの特徴

今年の五月二十九日の探鳥会で黒い鳥を見つけた。その名は、ハシソガラスという。黒い鳥は、カラスだ。体の色が、全身真っ黒でとても黒い。少しの色の鳥だった。また、ハシソガラスと鳴き声が違うことは、はじめて知った。これからはもっと、鳥に詳しくなりたい。

探鳥会新聞

シジュウカラ

鳴き声：ツピツピツピ

全国の森林や木の多い住宅地のほか、公園などにもいる。秋から冬には2羽から十数羽の小さなむれでいそがしそうに歩く。低い枝などで昆虫やクモ、マツやケヤキの木の実なども好んでたべる。またエナガやコゲラ、ヒガラなど、ほかの野鳥とむれをつくることもある。

白と黒いシジュウカラもいるよ!

さん考文けん

鳥屋野潟野鳥図鑑

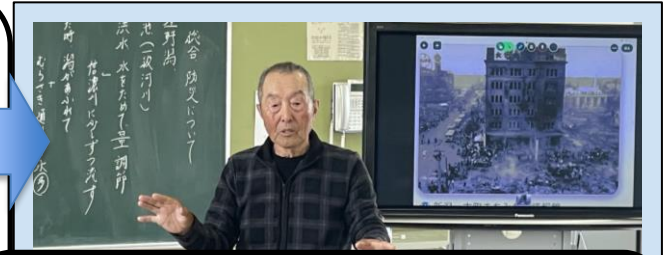
今後の活動としては、秋に「探鳥会」を設定していますので、季節による野鳥の比較をして、より詳しく調べていきます。また、その間には、「とやの物語2025」出前講座の講師の方々を迎え、野鳥以外の鳥屋野潟に生息する生き物についても調べていきます。

最終的には、これらの活動を通して、地域の宝である「鳥屋野潟」について、生き物の生態を中心にまとめていきます。

4年生 活動名「防災のための安心・安全なまちづくりプロジェクト」

学習のスタート

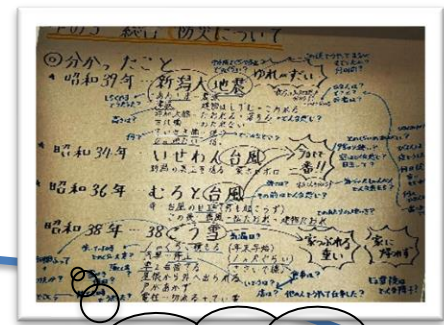
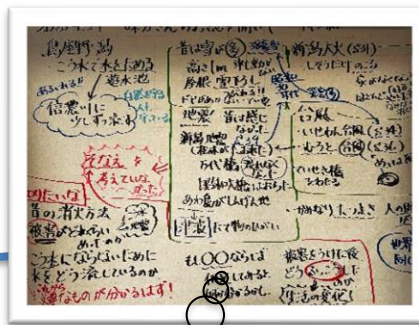
3年生で学んだ鳥屋野潟には、防災のために使われる役割があることを知り、「防災とは何だろう。」「どんな災害が起きていたのだろう。」という疑問から、地域のことをよく知る味方さんに話をお聞きしました。



4月24日 味方 繁夫 様

鳥屋野潟の遊水池としての役割や新潟で経験された災害のお話を聞き、鳥屋野潟の大切さや多くの自然災害があったことを知りました。

話を聞いて分かったことをまとめる



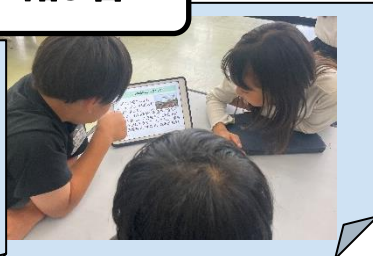
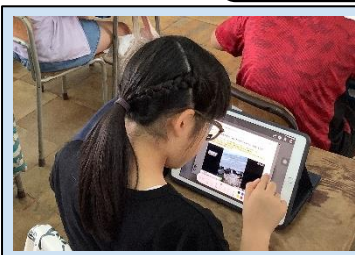
もっと災害について調べたいな。

災害が起きた時は、どのように避難したり生活したりするのかな。

災害へはどんな備えが必要なのかな。

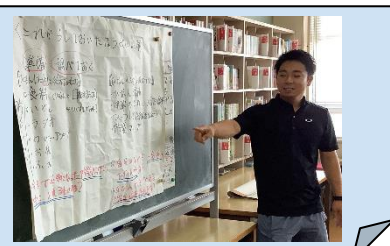
気になる！

調べ学習・話し合い



【出てきた課題】

- ・地域で起こりやすい災害は？
- ・安全な避難の仕方は？
- ・安全な場所は？
- ・避難所で必要なものは？
- ・避難所での生活の様子は？



子どもたちの思いを受けて、自分をもっと知りたい災害について、本やインターネットで調べてまとめたり、調べたことを共有したりする活動をしました。

地域の防災課題を解決するために・・・

- 町内ごとの防災マップづくり
- もっと調べたいテーマを追究学習
- 地域・お家の方へ向けた発表会などを、これからみんなで取り組んでいこうと話合っています。

6年生 活動名 「運動会を創ろう」「佐渡に学ぼう」

総合のキーワードは「思い」です。
自分たちは行事を「どんな思い」をもって計画・実行していくのか考え、話し合いながら実現させていきました。

みんなの「思い」を話し合って運動会を創ろう



今年の運動会は5年生と一緒に創りました。話し合いを重ね、練習を通して自分たちの思いを実現させました。うまくいかないこともありましたが、努力を続けたり、協力し合ったりすることで成功につながりました。

運動会を成功させるには、自分たちの強い「思い」が大切だと気付きました。修学旅行で訪れる佐渡島を世界遺産に導いた人々は、どんな「思い」をもっているのだろうか？



佐渡のよさ・人々の「思い」を学ぼう!

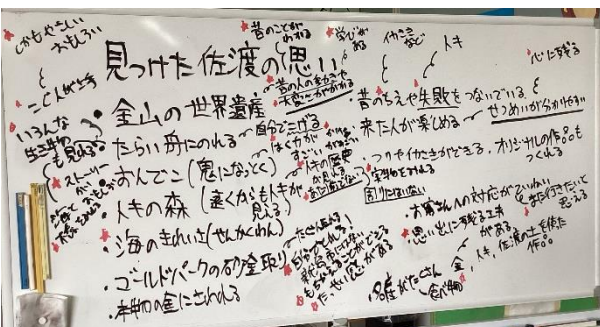


佐渡島の島の特徴や文化などを自分たちで調べたり、講師の先生から「佐渡島の金山」についてお話をいただいたりしました。

修学旅行後、自分で見つけた佐渡で暮らす人の「思い」を友達と共有しました。「楽しんでもらいたい・また来てもらいたい」という思いから、そのために取り組んでいることにまで目を向けることができました。



体験して佐渡のよさを学ぼう!



今後は地域の方々の生き方や仕事への「思い」をお聞きして、自分たちのこれからの生き方について考える「未来へはばたけ」(キャリア教育)に取り組んでいきます。将来への「思い」, どのようなことに取り組んでいけばよいかなどを一人一人が思い描けるよう、さらに力を高めていきたいと思います。